



大西メディカルクリニック 通所リハビリセンター (兵庫県)

『次世代型デイケア』としての先進的な取り組みで地域を牽引！

Voice



センター長／理学療法士 石原 和明様にお話を伺いました。

■デイケアでのCogEvoの活用について

2020年10月にCogEvoを導入してから、評価とリハビリの一体的な活用を行っています。基本的には2種類のタスクで利用者様の傾向を見ていきながら、3か月に1回『5種バランスチェック』で評価しています。現在使われている人数は50名程度（全体の約15%）です。

評価においては、MMSEでは把握しきれない部分をCogEvoで数値化し、その方の傾向を視覚的にフィードバックしています。

リハビリにおいては、利用者ご自身で自由にメニューを決めるような設定にしており、個別のリハビリでCogEvoを実施するときには専任のセラピストがついて2種類のタスクを行っています。

利用者の皆様はCogEvoをゲーム感覚で使われており、結果がわかりやすいと話されています。タブレット自体に慣れていないので最初は難しいと言われるますが、スマホを持っている方は慣れると上手く使われています。職員やケアマネさんからは、評価が目に見えてわかりやすいと言われる。結果シートはケアマネさんにFAXしたりご家族にお渡しすることもあります。

<生活の影響や認知能力の軽微な変化を捉える>

先日、ご利用様が身近な人と関わりが減った事がきっかけで一時的に認知能力が低下したことがあり、その結果がCogEvoにも反映されていました。利用者様の様子が何かおかしいと思ったときにCogEvoをやってみると、その変化が結果に顕著に表れます。

具体的には、見当識、計画力のタスクが結果に出やすいので、これらの結果が以前より下がっている時は状態がよくないという印象です。また、CogEvoに取り組んでいても、なかなか結果が元に戻らない人は生活に影響が出やすいという予測に使えらると思います。

特に、認知能力が落ちている方は計画力のタスクであるルート99ができないことが多いです。実施する以前に気付いていることが、数値をみて再確認ができるのが良いですね。

日の出医療福祉グループ
医療法人社団奉志会
大西メディカルクリニック
通所リハビリセンター

当施設は、「次世代型デイケア」として「心身機能」「活動」「参加」を通じ生活行為に着目したリハビリを療法士がプログラムを設定しています。その人の目標・目的に向かい「今を変えたい」「再び挑戦したい」そんな方を応援する事業所です。

兵庫県加古郡稲美町岡岡2-4-3
電話番号:079-496-6644

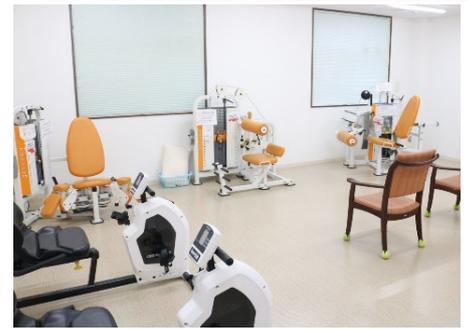
法人情報:ホームページより



大西メディカルクリニック 通所リハビリセンター（兵庫県）

■脳トレ特化コース「いなみ学習院」の取り組み

2021年9月より新たなコース「いなみ学習院（脳トレ特化コース）」を開設しました。こちらのコースでは、認知面低下の早期発見や、予防・向上を目的に、授業形式で行うレクリエーション（おとなの学校メソッド）、パワーリハビリや卓球などの運動、認知機能トレーニング（CogEvo・コグニサイズ）など、多彩なプログラムで認知面へのアプローチを行います。実施対象者は要支援1～要介護2（要介護1がほとんど）で記憶の低下など、何かしら認知機能に不安を感じている方です。参加している方への印象としては、表情が明るくなったり、集中力も上がってきたように思います。初めは家族の勧めで来られていた利用者さんも、だんだんと来るのが楽しみになられたり、『みんなで頑張ろう』という仲間意識をもって、クラスメイトのような感覚で様々な脳トレに取り組んでいらっしゃいます。



■早期認知症予防の定着に向けた地域づくりについて

利用者様やご家族からケアマネに相談があった段階では、ほとんどの方が生活の中で何かしらの困りごとが出ています。また、皆さん現状を把握することに心理的ハードルを感じられ、そのまま認知症が進行してしまうこともあります。認知症予防のためにもっと前の段階で施設にきてリハをしていただきたと考えています。今後の展望として、早期認知症予防の為にアクティブシニアの集いやすい場所の提供など元気な60代向けのサービスや、更なる地域の認知症予防の普及を検討していきたいと考えています。

< CogEvoを活用した地域住民向けの認知症講座 >

地域で認知症予防講座を行なう機会があり、そこでもCogEvoを活用しています。モニター上でCogEvoを実施し、それぞれの認知機能と関係のある生活の中でできる習慣、例えば「記憶力アップのために日記を書く」「注意力を鍛えるために間違い探しをする」など手軽にできることを本やテキストを使って紹介しています。

ゼロ次予防（気づき）の段階で地域の元気な高齢の方々に集まっていただき、予防行動を習慣化していければと考えています。そのためにも、地域包括支援センター等と連携してゼロ次予防の必要性について地域の方へ普及するための様々な取り組みを行っています。